

ヘルスケア・イノベーション・フォーラムの 活動状況報告

平成23年6月27日
第4回総会報告

「ヘルスケア・イノベーション・フォーラム」の概要

1. 健康・医療分野で先端的な取組を進める産学官の関係者が力を結集し、地域医療の高度化や個人の健康の維持・増進を支援するとともに、新たな成長分野としての健康関連産業を育成することを目的とする。(2009年11月14日設立)
2. 全国最先端の取組を行う様々な関係者が協力して、健康社会の実現に向けた全国初の統合的かつ実用的なプラットフォームを構築、日本全体のスタンダードとして確立することを目指す。
3. 構築したプラットフォームを、個人の健康状態の把握・維持・増進に役立つ新たな機器やサービスの有効性を実証する場として広く社会に開放することによって、健康・医療分野における新産業創出や社会的課題を解決するための苗床としての機能を実現する。
4. 国内外から広くメンバーを募集し、全国大の取組として発展させる。

【プラットフォームの主な機能】

- 個人の生涯を通じた健康・医療情報の収集・提供・活用基盤
EHR (Electronic Health Record), PHR(Personal Health Record) の実現
- 健康・医療情報を活用し、個人に最適かつ持続可能な健康関連サービス（運動、食事指導等）を提供する仕組み
- ワンストップの個人認証システム
- 健康・医療に関する新製品・サービス・システムを実証できる環境 など

医療・健康問題における四国の現状

- 四国は、国内で最も進んだ高齢化地域
高齢化率：高知27.8%、徳島26.1%、愛媛25.6%、香川24.9%（全国22.1%）
- 糖尿病・心疾患・脳卒中による死亡率が全国トップクラス
糖尿病：徳島1位、高知県2位 心疾患：愛媛1位、高知2位 脳卒中：高知3位
高血圧性疾患 徳島3位（総務省統計局：「社会生活統計指標」2010(2007年データ)、
なお、糖尿病は、厚生労働省 人口動態統計による直近データ(2009年)



四国は、日本・世界における医療・健康問題の課題先進地域！

逆に言えば、、、

**医療・健康問題に対応した新しいシステムを創造・実証し、
国内外のモデルとなるソリューションを提示できる環境**



「必要性」と優れた「実証可能性」を有する地域！！
さらに、「医療圏」と「生活圏」と「勤労圏」が同一！！
（医療・健康情報の収集・統合が容易）

HCIF(H21.11)発足以降の総会・部会の開催状況

○総会 4回 (21年11月、22年5月、11月、23年6月)

○事例研究部会 9回 (21年12月、22年2月、3月、5月、7月、9月、11月、
23年2月、6月)

○治験IT化部会 5回 (22年7月、9月、11月、23年2月、6月)

フォーラムの活動状況(その1)

○第3回総会・第7回事例／第3回治験部会(22年11月29日)【加入企業・団体数:59】

【第1部:第7回事例研究部会】

- ① 社会保障カード(仮称)実証事業～高松～ 【(株)ミトラ 尾形 優子代表取締役社長】
- ② 社会保障カード(仮称)の制度設計に向けた実証事業～島根県出雲市における取り組み状況のご紹介～
【富士通(株) 錦織 康之次世代電子行政推進室長】
- ③ 美術館北通り診療所 街の診療所から 【美術館北通り診療所 瀬尾 憲正院長】
- ④ 社会保障カード(仮称)プロジェクトを振り返って
【厚生労働省社会保障担当参事官室 中安 一幸主査】
- ⑤ 医療・健康情報における標準規約検討委員会の状況について 【(株)STNet 横田貴文マネージャー】

【第2部:第3回治験IT化部会】

- ① MFERの最新動向、国際伝送実験の準備状況 【日本光電工業(株) 平井 正明専門副部長】
- ② QT/QTc評価試験の効率化を目指すK-MIXを基盤としたMFER伝送システム
【日本CRO協会IT化ワーキンググループ 大門宏行リーダー】

【第3部:第3回総会】

- ① 設立総会以降の活動状況報告 【堀口副座長】
- ② 各種競争資金に関する情報提供 【四国経済産業局 鈴木 晴光地域経済部長】
- ③ 総合特区制度「安心のまちづくり計画」の状況紹介
【香川県健康福祉部医務国保課 木川 佐智子課長補佐】

フォーラムの活動状況(その2)

○日本版EHR/PHR構想～香川における医療ICTへの取組み～(22年12月18日)

主催:ヘルスケア・イノベーション・フォーラム

後援:香川県医師会・チーム香川・戦略的大学連携支援事業・瀬戸内圏研究センター

協賛:ハウス食品株式会社・株式会社H+Bライフサイエンス・株式会社STNet

【ステージイベント】

開会挨拶 【香川大学医学部附属病院 病院長 石田 俊彦先生】

講演 【徳島文理大学・徳島文理短期大学 学長 桐野 豊先生】

【香川大学瀬戸内圏研究センター特任教授

・徳島文理大学工学部臨床工学科 教授 原 量宏先生】

コナミスポーツクラブ高松

【格闘技エクササイズ デモンストレーション】

【デモ体験コーナー】

K-MIX(かがわ遠隔医療ネットワーク)・「IruCaカード」を用いたPHR事業・

電子処方箋ネットワーク・糖尿病地域連携クリティカルパス事業・電子カルテ機能

統合型TV会議システム「ドクターコム」など

○第8回事例／第4回治験部会(23年2月14日)【加入企業・団体数:63】

【第1部:第8回事例研究部会】

- ① 鴨川市社会保障カード実証事業における成果と今後の計画【亀田総合病院 大久保 優氏】
- ② 社会保障カード(仮称)実証事業事例発表(おおむらコンソーシアム)【(株)NTTデータ 森村 一雄氏】
- ③ 社会保障カード(仮称)ID等に関するワークショップ 概要報告
【厚生労働省社会保障担当参事官室 中安 一幸主査】
- ④ 医療ITを用いた糖尿病連携クリティカルパス【香川大学医学部 村尾 孝児教授】
- ⑤ Net-SMBGから始まる健康・身体データの利活用について
【ミテネインターネット(株) 山崎 貞人統括部長、石上晋三マネージャー】
- ⑥ 電子処方せんネットワークシステムー構想から実証事業までー【徳島文理大学 飯原なおみ准教授】
- ⑦ 千葉県における電子カルテネットワークと連携する周産期救急システムの開発
【亀田総合病院総合周産期母子医療センター 鈴木 真部長】
- ⑧ 北海道南西地域で進む周産期医療支援ネットワーク【札幌医科大学 新見 隆彦助教】

【第2部:第4回治験IT化部会】

- ① K-MIX を利用した医薬品・医療機器安全性情報収集の今後の展望ーデータと画像の同時収集ー
【香川大学 原 量宏特任教授】
- ② 治験データ(医用波形)の電子的な収集と匿名化について
【日本CRO協会IT化ワーキンググループ 大門 宏行氏】

参加メンバー(63)

1. 大学・医療機関(10)

香川大学、香川大学医学部附属病院、徳島文理大学、香川県医師会、特定医療法人財団 エム・アイ・ユー麻田総合病院、医療法人財団 パルモア病院、四国電力総合健康開発センター、美術館北通り診療所、瀬戸健診クリニック、訪問看護ステーションあした

2. 産業界(38)(50音順)

アクセンチュア(株)、(株)アスクレップ、(株)イノベイト、(株)インターサイエンティフィックリサーチ、インテル(株)、(株)STNet、エフエーシステムエンジニアリング(株)、(株)幸燿、(株)コナミスポーツ&ライフ、(株)ジェイ・エム・エス、四国情報管理センター(株)、シスコシステムズ合同会社、(株)システム環境研究所、高松琴平電気鉄道(株)、高松丸亀町商店街振興組合、ディーリンクジャパン(株)、テルモ(株)、トーイツ(株)、東京CRO(株)、(株)東芝、日本光電工業(株)、日本CRO協会、日本システムサイエンス(株)、日本メディカル(株)、ネットワンシステムズ(株)、(株)パシフィックシステム、(株)日立製作所、(株)百十四銀行、(株)ブイキューブ、富士通(株)、(株)ベルシステム24、三井住友海上火災保険(株)、三井住友海上きらめき生命保険(株)、ミテネインターネット(株)、(株)ミトラ、(株)メディサイエンスプランニング、(株)ヨコタコーポレーション、(株)ワコム

3. 公的機関(9)

四国経済産業局、総務省四国総合通信局、(独)産業技術総合研究所四国センター、(独)産業技術総合研究所社会知能技術研究ラボ、(独)中小企業基盤整備機構四国支部、(財)医療情報システム開発センター、(財)パブリックヘルスリサーチセンター、日本遠隔医療学会、産総研・健康ものづくり研究会

4. オブザーバー(6)

香川県、四国旅客鉄道(株)、ジェイアール四国バス(株)
厚生労働省 社会保障担当参事官室 情報連携基盤推進室 中安室長補佐
農林水産省 農林水産技術会議事務局 能登研究調整官(食品担当)
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 食品機能研究領域 日野領域長